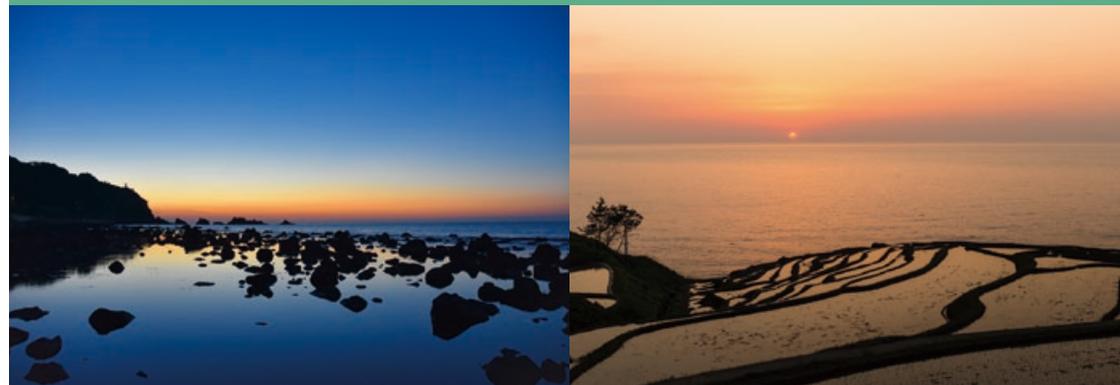


認証番号	組織名称	所在市町	認証番号	組織名称	所在市町
141	株式会社北都組	金沢市	201	能登島ダイビングリゾート	七尾市
142	一般財団法人mudéf	県外	202	竹腰永井建設株式会社	白山市
143	岩井戸地区振興協議会	能登町	203	大和ハウス工業株式会社金沢支社	金沢市
144	北陸学院大学フィールドスタディ地域福祉プログラム	金沢市	204	かほく市立大海小学校	かほく市
145	ユニー株式会社 北陸営業部	金沢市	205	株式会社富士通ITプロダクツ	かほく市
146	郵便局株式会社能登地区連絡会	志賀町	206	石川県立七尾特別支援学校輪島分校	輪島市
147	北陸積水樹脂株式会社	能美市	207	株式会社PFU	かほく市
148	渡津ホテル保存会	白山市	208	鶴来谷林業研究会	白山市
149	株式会社ハワイ村田製作所	羽咋市	209	合同会社輝け白山	白山市
150	浅地高周波株式会社	金沢市	210	若緑を守り育む会	かほく市
151	株式会社 石川コンピュータ・センター	金沢市	211	株式会社エオネックス	金沢市
152	石川県立穴水高等学校	穴水町	212	大福寺集落	志賀町
153	株式会社 金沢ジャーナメンバーカリー	金沢市	213	能登町立能都中学校	能登町
154	田岸山里海倶楽部	七尾市	214	株式会社アルブ	金沢市
155	株式会社 寺田鉄工建設	小松市	215	参天製菓株式会社 能登工場	宝達志水町
156	寺井建設株式会社	志賀町	216	ダンロップタイヤ北陸株式会社	金沢市
157	山崎製パン株式会社 名古屋工場	県外	217	石川サンケン株式会社	志賀町
158	柳田建設株式会社	能登町	218	サンケンオプトプロダクツ株式会社	志賀町
159	西谷内集落	七尾市	219	株式会社角永商店	白山市
160	株式会社 工藤工務店	穴水町	220	灯岩せうせい会	能美市
161	まちなか里山公園づくりの会	七尾市	221	環境開発株式会社	金沢市
162	株式会社 山一	穴水町	222	株式会社白峰産業	白山市
163	津幡町職員互助会あけぼの会	津幡町	223	津幡町立太白台小学校	津幡町
164	宮竹用水土地改良区	能美市	224	株式会社 滝川組	津幡町
165	能登町立小木中学校	能登町	225	アロマの里@獅子吼	白山市
166	atetote	金沢市	226	輪島親子昆虫クラブ	輪島市
167	奥能登原木しいたけ活性化協議会	穴水町	227	株式会社くさのね	白山市
169	株式会社サークルKサンクス北陸事務所	白山市	228	株式会社Design of JPN	金沢市
170	七尾市立有磯小学校	七尾市	229	まるやま組	輪島市
171	七尾市立石崎小学校	七尾市	230	七尾市高階公民館	七尾市
172	七尾市立田鶴浜小学校	七尾市	231	七尾市御祓公民館	七尾市
173	七尾市立和倉小学校	七尾市	232	七尾市能登島公民館	七尾市
174	七尾市立中島小学校	七尾市	233	七尾市石崎公民館	七尾市
176	七尾市立徳田小学校	七尾市	234	七尾市西岸公民館	七尾市
177	七尾市立天神山小学校	七尾市	235	七尾市里山里海協議会	七尾市
178	七尾市立山王小学校	七尾市	236	東湊地域づくり協議会	七尾市
179	七尾市立東湊小学校	七尾市	237	七尾市西湊公民館	七尾市
180	七尾市立小丸山小学校	七尾市	238	七尾市豊川公民館	七尾市
181	七尾市立高階小学校	七尾市	239	熊木公民館くまき里山愛好会	七尾市
182	七尾市立能登島小学校	七尾市	240	七尾市崎山地区コミュニティセンター(七尾市崎山公民館)	七尾市
183	石川・松任健康の里	白山市	241	YBU13クラブ	七尾市
184	特定非営利活動法人ワンネススクール	白山市	242	和倉地区地域づくり協議会設立準備会	七尾市
185	株式会社G-VOICE	金沢市	243	和倉地区連合町内会	七尾市
186	株式会社丸西組	小松市	244	和倉東町町内会	七尾市
187	石川県立輪島高等学校(定時制)	輪島市	245	七尾市和倉公民館	七尾市
188	特定非営利活動法人みらいプロジェクト	金沢市	246	あかうら	七尾市
189	小松市立木場小学校	小松市	247	矢田郷公民館	七尾市
190	米沢電気グループ経営者会議	金沢市	248	七尾城まつり実行委員会	七尾市
191	能登棚田保全活動協議会	穴水町	249	能登町立柳田中学校	能登町
192	白山しらみね薪の会	白山市	250	imaima・	白山市
193	木場潟再生プロジェクト	小松市	251	輪島市立東陽中学校	輪島市
194	株式会社吉岡機販	金沢市	252	石川県立門前高等学校	輪島市
195	能登町立松波中学校	能登町	253	菟(よろこび)	金沢市
196	白山市立鳥越小学校	白山市	254	株式会社なぎさエアマネジメント	穴水町
197	高松紋平柿生産組合	かほく市	255	えんなか合同会社	穴水町
199	特定非営利活動法人角間里山みらい	金沢市	256	東田電機工業株式会社	津幡町
200	能登ぶく事業協同組合	七尾市			



石川の 里山里海を支える パートナー

～いしかわ版里山づくりISO～ **Vol.4**



石川県環境部温暖化・里山対策室

石川県金沢市鞍月1丁目1番地 TEL:076-225-1469 FAX:076-225-1479
HP:<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/iso/ontaiiso.html> Email:sato-iso@pref.ishikawa.lg.jp



さまざまな生きものが網の目のようにつながりを持ちながら生きていることを「生物多様性」といいます。衣・食・住など私たちの暮らしは、これら生物多様性の恵みによって支えられています。私たちの豊かな暮らしをこれからも持続させていくためには、生物多様性の保全はとても重要です。

2011年3月、石川県は、生物多様性保全のための取り組みのよりどころとなる「石川県生物多様性戦略ビジョン」を策定しました。この戦略ビジョンは本県の生物多様性を特徴づける「里山里海」の保全・利用を中心にした内容となっており、「里山里海における新たな価値の創造」や「多様な主体が参画した新しい里山づくり」などの重点戦略を掲げています。

人と自然の関わりの中で育まれた里山里海の生物多様性は、持続可能な形で利用・管理することによって保全していくことが大切です。そのためには、里山地域に暮らす住民だけでなく、外部からの参画も得て、みんなで里山づくりを行っていくことが必要になります。

そこで県では、企業やNPO、学校など、より多くの方々に里山づくり活動に参加していただくため、「いしかわ版里山づくりISO」制度を創設しました。

これは、農地や森林の整備、生きものの保全活動、海岸清掃など、企業や団体などが行う里山里海の保全・利用のための取り組みを県が認証するものです。県では、各認証団体の里山づくり活動に関する情報発信や、活動に必要な道具の貸し出し、講師の派遣などの支援を行っています。

現在、256の企業・団体・学校を認証しており、今回、認証団体の活動を皆さんに知ってもらい、新たな展開のヒントを得る場として開催した「平成28年度いしかわ版里山づくりISOポスター交流会」の成果を冊子として取りまとめました。この冊子が、里山づくり活動のさらなる発展や、新しく里山里海へ関わるきっかけとなり、石川の里山づくり活動の輪が、ますます広がっていくことを願います。

2017年3月

石川県環境部温暖化・里山対策室

【平成28年度いしかわ版里山づくりISOポスター交流会の結果】	3
【ポスター発表の要旨】	
能美の里山を「守る・深める・活かす」活力ある地域づくりを目指して 畑中 茂伸(能美の里山ファン倶楽部)	4
中山間地に寄り添って…竹とうろろまつりと新保キッズクラブ 山本 久司(NPO法人39アース)	5
里山里海の資源活用と環境教育 千田 昌昭(NPO法人いしかわ農林水産サポートネット)	6
「ホクコクの森」づくり 高畠 葵(株式会社ホクコク地水)	7
人と自然を愛し、感動をわかちあい、夢を語ろう 越石 あき子・森川 俊彦(夕日寺自然体験実行委員会)	8
里山で深刻化する獣害は食べて減らせるのか? 若井 憲(株式会社橋本確文堂自然人編集部)	9
大学と地域のステークホルダーとの協働による地域活性化をめざした里山・里海ESD 池田 幸應・新 広昭(金沢星稜大学)	10
里山の恵みと里山林の保全活動 小谷 清範(三谷地区活性化推進協議会)	11
ケロン子ども森の学校づくり～能登町「ケロンの小さな村」での取り組み～ 上乘 秀雄・上乘 純子(農事組合法人能登ふれあいガーデン)	12
「苔の里」の景観を次世代に残すために 高 富師彰・有川 宗樹(日用苔の里整備推進協議会)	13
「のとてまり」栽培を通して里山の魅力と可能性を探る活動 島田 龍介・奥堂 紗弥・村上 日向(石川県立穴水高等学校)	14
まちなかの里山再生と地域コミュニケーション 宮川 明大(まちなか里山公園づくりの会)	15
能登町里山で祝う15歳の春!門出プロジェクト ～能登町立能都中学校・柳田中学校・松波中学校・小木中学校の取り組み～ 新出 直典(能登町教育委員会)	16
里山景観創出プロジェクト・SKS48(能登志賀の郷リゾート森林住宅地) 代市 光男(大和ハウス工業株式会社)	17
棚田へのラベンダーの植栽による美しく香しい里山づくりーラベンダーと香りのファンクラブー 三宅 純子(アロマの里@獅子吼)	18
ななおの里山里海 筑城 まゆみ(七尾市里山里海協議会)	19
【県の取り組み】	
いしかわ版里山づくりISO	20
いしかわ里山ポイント	21
いしかわ版CO ₂ 削減活動支援制度	21
石川の森整備活動CO ₂ 吸収量認証事業	21
【いしかわ版里山づくりISO認証団体一覧】	22

平成28年度いしかわ版里山づくり ISOポスター交流会の結果

「いしかわ生物多様性フォーラム～生物多様性と企業のかかわり～」（平成29年2月27日開催）の中で、いしかわ版里山づくりISO認証団体の活動を皆さんに知ってもらい、新たな展開のヒントを得る場として、「ポスター交流会」を開催しました。19の認証団体がポスター発表（うち4団体は合同で発表）を行い、認証団体間のみならず、100人を超える本フォーラムの参加者と活発に交流しました。

■ポスター交流会



■いしかわ生物多様性フォーラム



能美の里山を「守る・深める・活かす」 活力ある地域づくりを目指して

畑中 茂伸（能美の里山ファン倶楽部）

●設立の背景、目的

中山間地域における過疎化や高齢化等による、耕作放棄地の増加や山林の荒廃は全国的に深刻な問題となっており、能美市の中山間地域も例外ではありません。このような中で、市民、行政、各種団体、民間の事業者など里山を愛する多くの人々が協働し、能美のふるさとを「守る・深める・活かす」の3つのキーワードで、人を育み、里山を守り育て、地域力を高めながら、活力のある地域づくりを進めるため、平成18年6月に「能美の里山ファン倶楽部」を設立しました。



能美の里山景観

●活動の内容と目標

里山林の枯れ木や倒木の処理、散策路の整備や間伐を行い、そこから出る木材を利用した炭やキノコなどを生産する「里山の保全再生活動」を柱とし、里山地域の農林産物の販売やこれらの加工等による商品化（万能たれやカボチャパウダー、乾燥シイタケ等）に取り組む「産業化研究」、散策会や歴史・文化体験などの「里山コミュニティ活動」を通してのまちむら交流の促進、地域の子もたちが自然とふれ合う機会をつくり、里山の魅力を体験してもらう「環境教育活動」などを行っています。



環境教育活動

このように、能美市の里山の自然環境を良好な状態に保っていくために、さまざまな取り組みを通じた里山の普及活動を継続し、これをブラッシュアップすることにより、地域資源である「里山の恵み」や、活動により得られる収入を地域へ還元していくことを目指しています。私たちファン倶楽部にとって、地域経済が循環するこれら事業の「産業化」が最大の目標です。

お問い合わせ先

氏名	会長 畑中 茂伸 <small>はたなか しげのぶ</small>	所属	能美の里山ファン倶楽部
住所	〒923-1224 石川県能美市和気町い21-1		
電話	0761-51-2308	FAX	同左
E-mail	info@nominosatoyama.com	HP等	http://nominosatoyama.com

中山間地に寄り添って… 竹とうろうまつりと新保キッズクラブ

山本 久司(NPO法人39アース)

●NPO法人39アースとは？

平成19年に地球温暖化を止め、環境保護を呼びかける“豪快な号外”を配るために集まった「TEAM GOGO!」を元にNPO法人「39アース」が誕生しました。39アースとは「ありがとう地球」という意味です。

放置竹林を間伐し、その竹を使って竹とうろうまつりを行っています。

中山間地に寄り添い、生きるすべを里山集落から学んでいます。

新保キッズクラブを主宰し、里山の自然を親子で学んでいます。

毎週日曜日早朝、片町で掃除を行っています。



竹とうろうまつり

第10回竹とうろうまつり

日時：平成29年10月8日午後2時～7時半

場所：金沢市新保町(送迎バスあり)

内容：第2回全国ウマイナー選手権、芋ほり、キッズランドなど

新保キッズクラブ

「遊びをととして里山の自然を学ぼう!」をスローガンに、親子で里山の自然体験を1年通して実践しています。里山保全の必要性・里山の歴史、そして自然環境保全についての理解と知識、および技能を身につけます。



新保キッズクラブ

年間スケジュール

- 4月 竹林オリエンテーション・ジャガイモ植え付け
- 5月 タケノコ堀り・草花観察
- 6月 竹林整備・サツマイモの植え付け
- 7月 夏の里山冒険隊・森林観察会
- 8月 山里民家の生活文化の体験(民泊)
- 9月 竹とうろうの製作
- 10月 里山交流・竹とうろうまつり
- 11月 竹林整備・竹チップ製作の体験
- 12月 リース・ミニ門松づくり
- 1月 ベレット製造見学、竹スキー・ソリ製作
- 2月 冬山体験 竹スキー、竹ソリ
- 3月 木工教室・修了式



活動の様子

お問い合わせ先

氏名	山本 久司(代表理事)	所属	NPO法人39アース
E-mail	q_agri@ybb.ne.jp	HP等	http://39earth.com

里山里海の資源活用と環境教育

千田 昌昭(NPO法人いしかわ農林水産サポートネット)

●目的と目標

平成21年に設立した当法人は、農林水産物等の生産やその利活用の支援、環境と調和のとれた里山里海の保全、農山漁村地域が持つ多面的機能の維持・発揮、県民への理解促進に寄与することを目的に活動しています。

●修学旅行生への田植え体験指導・支援活動

能登町の「春蘭の里」では、大阪の中学校からの修学旅行生を受け入れています。受け入れ人数は1回180人前後と多く、しかも全員に田植え体験がありません。そのため、地元の民宿関係者だけでは対応が難しく当法人へ田植え作業全般の指導依頼がありました。指導は田んぼの中での足の抜き方から始めますが、中には尻もちをつけて泥だらけになる生徒等、悪戦苦闘する生徒を励ましながらの指導となりました。



田植えの仕方指導

●中山間地域集落の活性化を目指した果樹栽培指導活動

数年前、七尾市西谷内集落の草刈りボランティアに参加した折、果樹による地域活性化(桃源郷づくり)を提案したところ、カキやウメなど従来の家庭果樹だけでなく、新たにモモ等新しい果樹苗木の導入も進んで、夢が実現することになり、責任をもってその指導に当たっています。



剪定方法の指導

●小学校でのサケの生態学習指導活動

河川環境の維持と小学生への環境教育の一助として、ふ化した河川に回帰するサケの放流を計画しました。七尾市の小学校を対象に、サケのペットボトル飼育を指導し、ふ化した稚魚は2月下旬に放流しました。(一部のサケの卵に病気が出たため、現在は休止中です。しかし子供たちが強い関心と興味を示すことから、卵の提供が受けられ次第再開することとしています。)



サケ飼育方法の実習

●山間地での特産品(ワサビ)づくり支援活動

白山麓の山間地の特性を活かしたワサビ栽培の指導は今年で3年目になります。苗を植えた直後に大水で流される不運もありましたが、その後比較的順調に生育し2～3年経て収穫できるまでになりました。いしかわ耕稼塾の「6次産業化研修」を受講するように勧めた結果、加工品(葉わさび漬け、なんば味噌等)の製造・販売もできるまでになりました。



栽培者と生育調査

お問い合わせ先

氏名	野島 重典・千田 昌昭・高山 高市	所属	NPO法人いしかわ農林水産サポートネット
住所	〒920-3198 金沢市才田戊29-1 石川県農林総合研究センター内		
電話	080-2952-4640		

「ホクコクの森」づくり

高畠 葵(株式会社ホクコク地水)

●主な活動

株式会社ホクコク地水では、平成22年5月より森づくり活動を行っています。津幡町にある石川県森林公園内の0.3ヘクタールの土地を「ホクコクの森」と名付け、主に草刈り・植樹などの森林整備をしています。これまで、コナラやヤマモミジなど約100本の植樹や、その下刈りなどを行ってきました。この土地はとても水はけが悪く木が育つには難しい土地なので、排水路を造って水はけを良くしてあげることが大切です。また、平成23年には「いしかわ版里山づくりISO」の認証を受け、県と協力しながら里山の保全に取り組んでいます。

●参加メンバー

我社の従業員とその家族、協力会社の方々が主なメンバーです。子供からお年寄りまで、毎年100人を超える参加があります。活動終了後にはバーベキューをし、参加者は疲れを癒やし、楽しんでいます。



植樹

●今後の課題

ここ数十年で地球全体の森林は急激に減っていることを知り、私たちにできることは何かを考え、「はぐくもう豊かな心 育てよう石川の森 ストップ温暖化」をテーマにこの「ホクコクの森づくり」の活動を続けてきました。自分たちで森をつくることにより、大人も子供も自然の大切さ・森をつくることの大変さを学ぶことができます。我社は、環境保全活動を通じて社会に貢献できる企業になることを目標に、これからもこの活動を続けていきたいと考えています。



ホクコクの森



記念植樹

お問い合わせ先

所 属	株式会社ホクコク地水		
住 所	〒921-8021 石川県金沢市御影町25番1号		
電 話	076-241-7158	FAX	076-243-2422

人と自然を愛し、感動をわかちあい、夢を語ろう

越石 あき子・森川 俊彦(夕日寺自然体験実行委員会)

●設立の経緯

平成17年から文部科学省「放課後子どもの居場所づくり推進事業」として金沢市立夕日寺小学校の児童を対象に「夕日体験教室」が開催されました。その教室のひとつ「自然体験」のインストラクターを筆者(越石)が担当したことがきっかけとなり、平成19年4月に「夕日寺生きものキッズレンジャー」を実施するための組織、夕日寺自然体験実行委員会を設立しました。

●活動のねらい

夕日寺自然体験実行委員会は「ゆめのたね」の愛称で親生まれ、金沢市の中心部から一番近い里山、夕日寺健民自然園をホームグラウンドに、小さなお子さんから大人まであらゆる世代に、自然、環境、命のつながり、心と身体の健康をテーマとした自然体験の機会を提供しています。これらの活動は、私たちにできる生物多様性・里山の保全は何かを、一人ひとりが考え実践することをねらいとしています。

また一方で、里山での活動から、希薄だった人間関係を強くたくし、信頼関係を築く方法を学び、一人ひとりが成長する場となります。里山と人がともに育つ学びの場づくりを、確実に次の世代へつなぎ、持続可能な循環型社会の実現を目指しています。

●活動内容

- ・おさんぼくらぶ♪(対象:2歳~3歳の幼児とその保護者):年に7回程度、自然園の中で自然と親しむさまざまな活動と子育て支援をしています。
- ・ちびっこ探検隊(対象は年中長年):年に4回、春夏秋冬の各季節の自然を肌で感じながら歩きます。
- ・ゆめのたね☆キッズレンジャー(対象:小学生):年に9回、主に自然園の中でさまざま自然体験活動を行っています。
- ・白山登山:石川県の豊かな自然を体験する活動として白山登山をしています。
- ・竹林整備ボランティア(対象:小学生以上親子)
- ・夕日寺の森フェスタへの参加:平成28年度は、夕日寺健民自然園でおこなわれたフェスタにおいて、竹のおもちゃや、段ボールを使ったオープンで作るピザ焼き体験などのコーナーを担当しました。
- ・いしかわ環境フェア・いしかわの里山里海展への出展:夕日寺健民自然園のトンボサンクチュアリでとれたアメリカザリガニをつかって、外来種の生態の学習にもなる、ザリガニ釣り体験のブースを出しています。
- ・トレジャー倶楽部(対象:大人):毎週木曜日に夕日寺健民自然園やその周辺を散策し健康と仲間づくりをしています。



竹林整備

お問い合わせ先

氏 名	越石 あき子	所 属	夕日寺自然体験実行委員会(ゆめのたね)
E-mail	info@yhdr.jp	HP等	http://www.yhdr.jp

里山で深刻化する獣害は食べて減らせるのか？

若井 憲 (株式会社橋本確文堂自然人編集部)

●自社の雑誌を使い、里山の今を伝える

株式会社橋本確文堂が発行する季刊誌『自然人』では、毎号、北陸の自然に育まれた人と文化を紹介しています。企画からすべて自社で行うこの雑誌では、北陸の旬の話題を独自の視点から発信しています。平成28年12月1日に発行した『自然人 No.51 2016 冬号』では、「北陸の狩猟」と題して、捕ることから食べることまで、北陸の里山で深刻化する獣害を減らすために、自分たちに「何かできることはないか?」と考えて特集を組みました。

そして、特集を企画していくうちに、知っているようで知らなかった狩猟のことや、捕獲された有害鳥獣のほとんどが利用されていない現状、利用が進まない理由が見えてきました。



自然人 No.51
2016 冬号 表紙

●皆が獣肉を食べれば獣害を減らすことができるのだろうか？

昨今のジビエ料理ブームで、イノシシやシカ肉への一般消費者の関心は高まりつつあります。それでも獣肉を食べたことがある人はまだ少数派であり、捕獲されたうち獣肉として利用されているのはわずか数パーセントというのが実情です。

さまざまな問題がありますが、今まで「狩猟」や「獣害」と、「ジビエ」が別々に伝えられることが多く、これの一つにして紹介されることが少なかったため、一般的に理解不足だったこともあるのではないかと感じられるようになりました。

その問題を解決する端緒になればと願って、『自然人』では獣害を減らすための循環に、一般の方がどう参加したらいいか? いくつかの方法をピックアップして具体的に記事にしました。

これからも機会があれば、このような情報発信を行ってまいります。



北陸三県取材してまとめた記事
「獣害は食べて減らせるのか?」

お問い合わせ先

氏名	自然人編集部	所属	株式会社橋本確文堂
住所	〒921-8025 石川県金沢市増泉4-10-10		
電話	076-245-3340	FAX	076-243-7945
E-mail	hokuriku@shizenjin.net	HP等	http://shizenjin.net/

大学と地域のステークホルダーとの協働による地域活性化をめざした里山・里海ESD

池田 幸應・新 広昭 (金沢星稷大学)

●地域貢献を目指す金沢星稷大学

本学は、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもと、学都金沢において経済学・経営学、人間科学および人文学を探究する高等教育機関として、地域の発展に貢献することをミッション(使命)としており、このミッション実現のため、里山・里海ESD(持続可能な開発のための教育)、祭りESD、地域産品のプロモーションなど多様な取り組みを展開しています。

●主な活動内容

①里山ESD

里山地域において、地域団体や学校、生産者、企業、行政など、さまざまなステークホルダー(利害関係者)との連携により、金沢市夕日寺地区における伝燈寺里芋の復活・再生、金沢市森山校下における金沢子ども竹灯りイベントのサポート、金沢市少年の森におけるスポーツ方法野外演習の実施など多彩なESD活動を行っています。



夕日寺「伝燈寺里芋」

②里海ESD

里海地域では、クリーン・ビーチいしかわへの主体的参加、羽咋市千里浜海岸における海辺の漂着物調査(県事業への主体的協力)、穴水町甲地区における、いしかわ漁民の森づくり活動への主体的参加などこれも多彩なESD活動を行っています。また、これらの活動の成果を毎年、いしかわ環境フェアにて広く県民の皆さまに情報発信に努めています。



クリーン・ビーチいしかわ
in かなざわ

③祭りESD

世界農業遺産に認定された能登の里山里海の評価ポイントの一つである、キリコ祭りをはじめとした、農耕にまつわる文化・祭礼の持続可能性のため、穴水町など能登地域の祭りへの主体的参加を続けています。



穴水町沖波大漁祭り

④地域産品のプロモーション

里山里海の恵みである産品をプロモーションして生業を作り出していくことは持続可能性にとって極めて重要なことです。本学では、能美市の国造ゆずを使ったポン酢や菓子、能登島のイモを使った焼酎、伝燈寺里芋のレシピづくりなどに取り組んできました。



能美市国造ゆずの
ポン酢

お問い合わせ先

氏名	いけだ ゆきお しん ひろあき 池田 幸應・新 広昭	所属	金沢星稷大学
----	-------------------------------	----	--------

里山の恵みと里山林の保全活動

小谷 清範(三谷地区活性化推進協議会)

●里山の恵み、山野草の採取

加賀市三谷地区は、平成23年11月に石川県内各所で開かれた「クック・イット・ロー」(世界的な料理人が集まる4日間のイベント)をきっかけに、東京都南青山のレストラン「NARISAWA」でオーナーシェフを務める成澤由浩氏とお付き合いがあります。上述のイベントで、成澤シェフほか数十人のシェフが三谷地区の里山に訪れた際、温かいおもてなしと良質な食材の豊富さに感動し、「里山の自然や文化もすばらしい」と絶賛されました。それ以来、毎週土曜日に注文が入り、日曜日に里山から山野草を採取し、月曜日に採取した食材を整理して発送しています。作業は主に、地元の女性21人で構成する「のぎくの会」が、健康と趣味を兼ねて頑張っています。今では、山野草の販路先が拡大し、地元料理店3店舗と小松、金沢の2店舗からも注文が入ってくる盛況振りで、また、地区の活性化に向けて成澤シェフと協力して、毎年5月に「里山フェスタinみたに」を開催しています。平成29年度は第7回目となり、平成29年5月14日(日)に開催する予定で、地元食材を使った料理コンテストを実施します。



三谷の里山から採取した数々の山野草

●里山林の保全活動

三谷地区は国道8号と南加賀道路が横切っており、また加賀インターからも3キロ程と市街地に隣接した里地里山地域ですが、日本に生息する多くの種類の猛禽類が確認されており、生物多様性の観点からも重要な地域です。またゼンマイやウバミソウ(カタハ、ミズ)などの山菜も豊富で、日本の原風景を垣間見ることができる里地里山のひとつです。地籍としては田畑が9.5パーセント、山林が62.4パーセントを占める三谷平野を有しており、近年、山林を手入れする人がおらず荒れ放題の状態です。そこで、当会では、見晴らしの良い通称「ホーソの森」と「日谷城址の森」の2カ所において間伐、除伐、下草刈り等を実施し、その成果により随分と明るくなり見通しが良くなりました。また、散策道やベンチ、案内板等も設置しました。さらに、ツリーハウスも作り、親子連れで遊べる森林になっています。



里山林の保全作業

お問い合わせ先			
氏名	こだに きよのり 小谷 清範	所属	加賀市立三谷公民館(館長)、 三谷地区活性化推進協議会(事務局長)
住所	〒922-0833 石川県加賀市曾宇町ホ7番地(加賀市立三谷公民館の事務所)		
電話	0761-72-1762	FAX	0761-72-0974
E-mail	mita-ma@kagacable.ne.jp		

ケロン子ども森の学校づくり ～能登町「ケロンの小さな村」での取り組み～

上乘 秀雄・上乘 純子(農事組合法人能登ふれあいガーデン)

●ケロン子ども森の学校について

ケロン子ども森の学校は、能登町の自然体験施設「ケロンの小さな村」(以下、ケロン村)の裏山にあります。ケロン村は山間にある休耕田を夫婦で整備した手づくりの体験施設で、平成21年3月から、米粉パン・ビザづくりや木工、川遊びなどのプログラムを提供しています。その裏手にある里山(通称:ケロンの森)で、樹齢100年以上のトガの大木と出会ったことを契機として、長い間、雪や嵐に耐えてきた大木のように、子どもたちの強い心と体を育てることを目的に「ケロン子ども森の学校」づくりを開始しました。



とがのきハウス

●主な活動内容

①森を再生して森の学校をつくる

まずは、雑木を払い、下草を刈り、橋を架け、道をつくることから始めました。平成26年には、森の学校の拠点として、トガの大木を中心に据えたツリーハウス「とがのきハウス」の製作を始め、あわせて広場や遊び場、山の散策路などの周辺整備も進めました。とがのきハウスは平成27年11月に完成し、子どもたちが思い切り遊び、学べる環境となっています。



自然観察会

②自然観察会の開催

平成28年からは、とがのきハウスを教室にして、ケロンの森の生きもの調べを開始しました。森の植物や、小川の魚・水生昆虫、雪の中の生きものなどを子どもたちと一緒に調査しています。たくさんの植物や生きものを見つけ、森の豊かさに驚きました。

③森づくりの楽しさを次世代に伝える(里山絵本の出版、読み聞かせ会)

子どもたちに将来、里山づくりの担い手になって欲しいとの願いで絵本「とがのき山のゆかいな学校」を出版し、その読み聞かせ会を開催しています。主人公のカエルと、ミミズやネズミなど小さな動物たちが力を合わせて美しく楽しい里山をつくる物語です。英訳付きで作者も英訳者も地元能登の出身です。



絵本の読み聞かせ会

お問い合わせ先			
氏名	じょうのり ひでお 上乘 秀雄	所属	農事組合法人能登ふれあいガーデン
住所	(ケロンの小さな村) 〒928-0326 (事務所) 〒927-0433	石川県鳳珠郡能登町齊和た部26 石川県鳳珠郡能登町宇出津ノ字14	
電話	090-4322-1380	FAX	0768-62-1471
E-mail	keron.mura@gmail.com	HP等	Facebookページ 「ケロンの小さな村」

「苔の里」の景観を次世代に残すために

高 富師彰・有川 宗樹(日用苔の里整備推進協議会)

●日用町について

小松市の中心部から車で30分の中山間地にある日用町は、日用杉の産地として知られ、先祖代々山林と共に暮らしていました。しかし林業衰退とともに過疎化が進み、現在は7世帯になりました。気候や地形が苔に適しており、昔から民家の裏庭に自然と苔が広がっており、各家がそれぞれの苔庭を管理していました。

●苔庭の維持管理

苔庭を維持するためには、落ち葉を掃除しなくてはなりません。昔は苔庭の落ち葉を掃除し、これを日々の燃料として使っていましたが、生活スタイルの変化に伴い、落ち葉を燃料に使わなくなりました。落ち葉の処理に困るようになり、また人口減少により掃除が負担になったため、苔庭が荒れていくことが予想されました。



苔の里(小松市日用町)

●協議会の活動と実績

苔庭の景観を次世代に残すことを目的に、平成12年に日用苔の里整備推進協議会を設立し、平成24年には「いしかわ版里山づくりISO」の認証を受けました。また、この年から「苔の里」と称して苔庭を一般に公開し、来訪者から協力金をいただき、維持管理の費用に充てました。同時にボランティアを募り、掃除や維持管理作業に参加していただきました。昨年から「苔の里サポーター」として広く募集したところ、年7回の作業に延べ66人の方が協力してくださいました。皆さまに熱心に取り組んでいただいたおかげで、作業の負担が軽くなり、苔庭の整備や拡張を行うことができました。いしかわり山ポイントも好評で、今後も利用したいと思います。これらの活動により、交流人口が増えたことで、町内が活性化していると感じています。



苔の里サポーターの活動の様子

●「苔の里」の景観を次世代に

昔から苔庭を掃除する道具は竹ぼうきです。先祖と同じ道具で同じように作業することで、先祖の暮らしを肌で感じられます。子孫にもこれを伝えることが私たち世代の役目だと思い「苔の里」の景観を残せるよう、これからも「苔の里サポーター」の皆さまと協力してこの活動を続けていきます。

お問い合わせ先			
氏名	高 富師彰	所属	日用苔の里整備推進協議会
住所	〒923-0324 石川県小松市日用町寅71		
電話	0761-65-1426		
E-mail	HPから	HP等	http://forestofwisdom.org/

「のとてまり」栽培を通して里山の魅力と可能性を探る活動

島田 龍介・奥堂 紗弥・村上 日向(石川県立穴水高等学校)

●この活動を始めた背景・目的

能登の里山里海が世界農業遺産に認定されたことを受けて、本校では、コナラの植林活動やコナラを利用した原木シイタケの栽培を通じて、主体的に地域の環境保全に取り組もうとする心や、過疎化や高齢化が進む地元に対して地域の活性化に貢献したいという意識を育むことを目的としてこの活動を始めました。また、原木シイタケの特秀品「のとてまり」の栽培活動や、「のとてまり」を食材としたレシピ開発など、本校生徒の元気な取り組みについて発信したいという願いもありました。



町有林での植林活動

●活動の内容・実績

この4年間、町が所有する町有林に、コナラ、クヌギ、山桜、山紅葉などを植林してきました。この活動は、県の「こども森の恵み推進事業」より支援を受けた奥能登原木しいたけ活性化協議会との連携事業として始まり、本校も、「魅力ある県立学校づくり推進事業」(平成24年度～平成26年度)、「ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業」(平成27年度～)の里山保全活動の一環として継続して行ってきました。



シイタケハウスにほだ木を運び込む

同じ学年の仲間と協力して作業を行う楽しさや、地域の環境保全に貢献しているという誇らしさで、植林活動では毎年生徒の笑顔があふれています。

穴水高校の植林活動の実績

平成25年度	コナラ・山桜・山紅葉	計390本植林
平成26年度	コナラ・山桜・山紅葉	計290本植林
平成27年度	コナラ・山桜・山紅葉	計280本植林
平成28年度	クヌギ・桜(ソメイヨシノ)	計200本植林

※ソメイヨシノは、この年の穴水高校の創立70周年記念として

「のとてまり」は、奥能登原木しいたけ活性化協議会が、奥能登の里山に育つコナラやクヌギの木を使った原木シイタケ栽培におけるブランド化をめざして、JAや日本キノコセンターと提携して開発してきた「の115」品種シイタケの特秀品です。本校では生産農家や技術指導員のご協力の下、平成24年度より栽培を始め、5年目となる取り組みです。平成27年は金沢市中央卸売市場での競りにおいて、本校栽培の「のとてまり」6個入り一箱に10万円の競り値がつき、平成28年も、8個入り一箱に5万5千円の競り値がつきました。自分たちが頑張って栽培した「のとてまり」が評価された喜びと、このことが奥能登の原木シイタケ栽培農家を元気づけることになるのだという思いから、「自分たちも地域に貢献できた」と誇らしく感じています。



「の115」がたっぷり入った「のとてまりキッシュ」

●活動の成果・感想

この活動を通して、地域の職業人の方々から知識や技能を学び、また、地域社会がいろいろな職種によって成り立っていることを学ぶことができました。また、生まれ育った「ふるさと」の産業や文化を知ること、「ふるさと」への愛着や誇りを深め、地域の可能性を探ることができました。



近江町市場で行われた「のとてまり」PRイベントに販売活動で参加

最後に、本校のこの活動が楽しく安全に行うことができたのは、さまざまな分野の方々のご指導とご協力によるものであったと強く感じています。これからも穴水高校は「里山保全活動」と「のとてまり栽培」を継続していきたいと思っています。

まちなかの里山再生と地域コミュニケーション

宮川 明大(まちなか里山公園づくりの会)

●活動の背景・目的

東嶺寺(七尾市田鶴浜町)境内の里山は、かつては木々が茂り豊かな自然が形成されていましたが、少子高齢化や生活様式の変化などにより、近年は竹や雑木、雑草などで荒れ、古来のきれいな姿はありません。年配者からは、昔は「お山」で遊んだと昔を懐かしむ声が聞かれるようになりました。そこで、里山公園を造成し、青少年の健全育成、住民の憩いの場、観光客の訪れる場とすることを目的として、有志によるボランティアを募り「まちなか里山公園づくりの会」を設立しました。活動は平成23年より6年計画で開始しました。

●活動内容

東嶺寺境内の約1万坪の里山において、荒廃した山林を整備し、年配者が子どものころに親しんだ里山を再生する活動を行っています。(活動の定例日は、毎月第2・4土曜日)

【主な活動】

- ・雑木の伐採、下草の刈り払い、集積および処分
 - ・ケヤキ、サクラ、広葉樹等の植樹(地元小学生等と森林教育の一環として行った)
 - ・散策道の整備
- また、当地は、隣接している町会の行事「登町オープンガーデン」の周回路に活用されています。



間伐材の簡易製材

●活動の成果と今後

平成28年度で活動開始から6年間の経過し、公園としての整備作業はめどがつかしました。あとは、細かいところの造作、維持管理が残っている状況です。6年間の長丁場で延べ参加人数は1,000人を超え、会員一同満足感があります。

また、平成28年度には、第28回全国森林レクリエーション地域美化活動で「奨励賞」を受賞したほか、七尾市市民のねがい推進協議会から「感謝状」を授与されるなど、一定の評価を頂きました。

自然を生かした公園らしい雰囲気をつくり、子供たちの情操教育や自然環境への関心の向上につながれたこと、さらにこの町にボランティアで作り上げた名所ができたことは、より良い未来を築くための一歩になったのではないかと思います。平成29年度からは新たな組織での活動を模索しているところですが、温故知新、伝統を守り新たな取り組みが必要と思っています。高齢化が進み、若者が減少する中で活気あふれるふるさとづくりをこれからも考え続けていきたいものです。

お問い合わせ先

氏名	みやかわ あきひろ 宮川 明大	所属	まちなか里山公園づくりの会
----	--------------------	----	---------------

能登町里山で祝う15歳の春! 門出プロジェクト ~能登町立能都中学校・柳田中学校・松波中学校・小木中学校の取り組み~

新出 直典(能登町教育委員会)

●事業の目的

能登町久田地区では、江戸時代に和紙が盛んに生産され、現在でもその伝統を「久田和紙」として受け継いでいます。

能登町内の全中学校3年生(能都中36人・柳田中28人・松波中31人・小木中16人、計111人)を対象に、久田和紙の卒業証書づくり(能登町里山で祝う15歳の春!門出プロジェクト)を実施しました。この事業の目的は、能登の里山を学び、次世代の能登の里山を担う人材の育成を図るとともに、地域の貴重な文化遺産の「久田和紙」をよりよく知り、「世界に一つだけの卒業証書」を作ることによって、地域や文化に興味・愛着を持ってもらうことにあります。



原料の加工(工程③)

●事業の内容

紙づくりの保存団体である紙工房みわ会の協力を得て、和紙づくりの主な工程の体験を行います。

生徒らは、原料の加工といった作業(工程③⑥)、冬の冷たい水で行われる紙すき(工程⑦)を経て出来上がった卒業証書を、卒業式で特別な気持ちで受け取ることになります。そして、この体験が、地域を支える生徒たちを育み、未来への活力となっています。



原料の加工(工程⑥)

【和紙づくりの主な作業工程】

- 工程① 和紙の原料である「コウゾ」を採取する
- 工程② 原料を切りそろえて蒸す
- 工程③ 蒸した原料から樹皮を剥ぐ(中学生体験)
- 工程④ 樹皮からさらに汚れ等を取り除く
- 工程⑤ アクをとるため水洗いし煮詰める
- 工程⑥ 繊維をほぐしながら棒でたたく(中学生体験)
- 工程⑦ 溶かした原料にトロロアオイを加え、紙すきを行う(中学生体験)
- 工程⑧ 圧縮、乾燥を行う



紙すき(工程⑦)

お問い合わせ先

氏名	しん で なおのり 新出 直典	所属	能登町教育委員会事務局
住所	〒927-0695 石川県鳳珠郡能登町字松波13字75番地		
電話	0768-72-2509	FAX	0767-72-2393
E-mail	kyouikuinkai@town.noto.lg.jp	HP等	http://www.town.noto.lg.jp

里山景観創出プロジェクト・SKS48 (能登志賀の郷リゾート森林住宅地)

代市 光男(大和ハウス工業株式会社)

●活動の目的

能登志賀の郷リゾート森林住宅地は志賀町にある別荘地です。アカマツ主体の森林であり、近年松くい虫の影響による枯れ松が多数発生し、森林が荒廃しています。近隣の森林も人の出入りがなく、里山としての機能を失っている状況です。生物多様性が豊かな里山の機能を存続させるために、里山荒廃の原因となるものを排除し、里山の景観を創出する活動を行うことを目的に里山景観創出プロジェクトを発足しました。

●活動メンバーは？

別荘地の管理運営・販売をする大和ハウスグループの現地事務所のメンバーが主力となっています。季節ごとに開催するボランティア活動には、たくさんの別荘オーナー様に参加頂いています。

SKS48?

里山景観創出プロジェクトの愛称です。とにかくたくさんのメンバーを増やしたいと思っています。オーディションはありません。

●活動内容

季節ごとの別荘地オーナー様のイベントをボランティア活動としています。

季節のお楽しみには、「いしかわ版里山づくりISO」の制度を活用して、知識豊富な講師を派遣して頂いています。併せて、山の枯れ木を伐採したり、里海のゴミを拾ったりの里山景観創出のボランティア活動を開催しています。



春:山菜採り&里山整備



夏:地引網漁&里海整備



秋:キノコ採り&里山整備

●今後の目標

里山景観創出プロジェクトを永く継続すること。

この活動を通じて、世界農業遺産「能登の里山里海」を私たちが理解し、その輪を広げたいと考えています。

お問い合わせ先

氏名	狩野 光博	所属	大和ハウス工業株式会社
住所	〒925-0156 石川県羽咋郡志賀町矢蔵谷ム1-9		
電話	0767-32-3382	FAX	0767-32-2655
HP等	http://www.daiwahouse.co.jp/shinrin/noto/		

棚田へのラベンダーの植栽による美しく香しい里山づくり - ラベンダーと香りのファンクラブ -

三宅 純子(アロマの里@獅子吼)

●活動をはじめた背景・目的

獅子吼高原のどこか懐かしさを感じる棚田は里山の趣きがありとても静かで、里の樹々は薫り高く澄みわたる美しい景観です。棚田はパーク獅子吼に隣接しており樹木公園へ向かう散策コースとしても人気があります。以前は稲作が行われ季節の彩りにあふれる日本の原風景が広がっていました。そこでアロマの里@獅子吼は休耕地となってしまった棚田を活用し、ラベンダーの植栽による美しく香しい里山づくりに取り組みました。



棚田のラベンダー畑
(平成23年6月)

●活動内容と成果

平成22年より棚田の土壌改良を行ない、休耕地へのラベンダーの植栽を始めました。平成27年4月には2枚の棚田がラベンダー畑となり、現在900平方メートルにラベンダー600本を植栽しています。ラベンダー栽培は、環境と景観に配慮して農薬を使用せずに栽培するため除草作業は欠かせません。



棚田のラベンダー畑
(平成28年6月)

平成27年には棚田のラベンダーから精油と芳香蒸留水の蒸留抽出し、その香りによる製品は、平成28年度石川ブランドに認定されました。

また、地元の白山市立一ノ宮公民館や県立白山青年の家では、「ラベンダーの香りとクラフトの講習会」や「摘み取り体験」をおこなっています。

●今後の活動展開

平成29年2月に『ラベンダーと香りのファンクラブ』の取り組みを白山市立一ノ宮公民館で始めました。それはソーシャルな「ラベンダー栽培」・芳香植物の精油抽出を楽しむ「百和香」・木の実と香りのクラフト「里山ゲビンデ」が活動のテーマです。



ラベンダークラフト教室

ラベンダーの精油と芳香蒸留水を基本教材とすることで地域資源である棚田の利活用とラベンダーの魅力を紹介します。

今後は、

- ①さまざまなワークショップの開催や公民館の文化祭で、活動を紹介しながらラベンダーファンづくりに努めます。
- ②休耕地となった棚田へラベンダーの植栽で、美しく香しい里山づくりをファンクラブの仲間たちと共に進めてまいります。皆さまどうぞ参加下さい。



ラベンダーの摘み取り体験

お問い合わせ先

氏名	三宅 純子	所属	アロマの里@獅子吼
住所	〒924-0073 石川県白山市千代野東五丁目3番地1		
電話	076-275-9310	FAX	076-275-9310
E-mail	santa-37@amber.plala.or.jp	HP等	https://www.kaori-matoibito.com/

ななおの里山里海

筑城 まゆみ(七尾市里山里海協議会)

●七尾市里山里海協議会について

七尾市では、「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されたことを契機として、生物多様性の保全や伝統文化の継承、世界農業遺産を利用した地域の活性化を図ることを目的に、官民一体で「七尾市里山里海協議会」を設立し各種事業に取り組んでいます。

●主な活動は

主な活動内容は、①小学校との連携による環境教育の推進、②「里山里海セミナー」の開催、③世界農業遺産の「保全・保持・活用」活動への支援です。

①については、小学校で用水路でのメダカやドジョウ等の生き物調査を実施し、その活動成果を児童が発表することなどにより、環境教育を推進しています。

②については、木の実やドングリを使った「アクセサリー作り」や、海藻を利用した「海藻おしば」の体験などを行う「里山里海セミナー」を開催し、市民に「能登の里山里海」の魅力をを感じる機会を提供しています。

③については、耕作放棄地を利用した日本酒づくりや景観作物の栽培、大学生の祭礼参加の受け入れ、都市部住民との広葉樹植林活動、6次産業化商品の試食販売会等、七尾市の各種団体が自主的に取り組む活動を支援しています。

●活動を通してもたらされた効果とは

自分たちの住んでいる、地域の素晴らしさを感じることで、古き良き文化、歴史、風土を「保持・保全・活用」し、継承する各地域の取り組みが広がりを見せています。

●活動課題として

世界農業遺産「能登の里山里海」の認知度の向上への取り組みと、里山里海を育んできた、第一次産業の担い手の育成、また、そのための里山里海の保全に向け、意欲を高めるような環境づくりが必要となっています。



児童による生き物調査



活動成果の発表



里山里海セミナー
(海藻おしばワークショップ)

お問い合わせ先			
氏名	ついき 筑城 まゆみ	所属	七尾市里山里海協議会
住所	〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地		
電話	0767-53-8005	FAX	0767-52-7765
E-mail	satoyama@city.nanao.lg.jp	HP等	http://www.city.nanao.lg.jp/

いしかわ版里山づくりISO

いしかわ版里山づくりISOは、里山里海の保全・利用に対する組織の取組方針を認証する制度です。すでに活動を行っている方はもちろん、これから活動を始めようとしていた方も認証を受けることができます。

里山づくり認証の対象となる活動の例

- ・里山の田んぼ・畑づくり支援活動
- ・里山の森づくり支援活動
- ・里山の生きものを守り育てる活動
- ・里海づくり支援活動
- ・里山の集落コミュニティの活動
- ・里山の外来生物駆除活動 など



里山の整備



生きもの調査
(輪島親子昆虫クラブ提供)



伝統的な祭りの支援

特徴

企業、NPO、地域団体など、幅広い組織の方々が対象です。認証手続きが簡素であり、また、認証のための費用は不要です。

メリット

【全体のメリット】

- ・顧客や取引先などからの社会的な信頼性が向上します。
- ・県の里山関連施策の情報がいち早く得られます。
- ・里山づくり活動などに対する専門家の派遣が受けられます。
- ・活動に必要な道具の無料貸し出しがあります。
- ・認証団体が主催するイベントにおいて、参加者にいしかわ里山ポイントを配布することができます。

【建設業者のメリット】

- ・石川県建設工事競争入札に係る主観点数の加点があります。

【非営利団体のメリット】

- ・いしかわ版CO2削減活動支援制度を利用して支援金を受けることができます。

【学校のメリット】

- ・優れた里山づくり活動を実践する優良校として補助金を受けることができます。

いしかわ里山ポイントって何？

里山での田んぼや畑の草刈りや、植林などの森づくり活動といった里山の保全活動を主催する際、参加者に里山ポイントが配布できます。参加者はポイントを、金券として使用可能な「里山チケット」と交換できます。



○里山ポイント対象活動や里山チケットが使えるお店についてはこちら

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/point/seido.html>

○貴団体が主催する里山保全活動を里山ポイントの対象としたい場合はこちら

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sat/point/bosyu.html>

いしかわ版CO₂削減活動支援制度って何？

NPOやボランティア団体などが行う森林整備活動に協賛いただける企業(協賛金額・105万円以上)を募集し、その協賛金を、これらの非営利団体の活動への支援金(1団体上限5万円)にあてる制度です。

協賛企業は、自社商品・広告等にロゴマークを使用することができます。消費者(県民)は、ロゴマークを使用している企業の商品を購入することで、団体の森林整備活動を支援することができます。



・支援金の内容：

区分	事業内容	支援金	要件
①CO ₂ 吸収量認証事業支援金	植栽、下刈り、除伐、枝打ち、間伐	上限5万円	「石川の森整備活動CO ₂ 吸収量認証事業」において、県からCO ₂ 吸収量の認証を受けること。*
②森林整備活動等支援金	植栽、下刈り、除伐、枝打ち、間伐およびこれらに準じる活動	上限2万円	— *

※いずれの支援金も、県の「いしかわ版里山づくりISO」の認証を受けている、もしくは、認証の申請がなされている、営利を目的としない団体が対象(企業は対象外)

石川の森整備活動CO₂吸収量認証事業

企業や団体などが、県内で社会貢献活動として整備した森林について、1年間に吸収すると考えられる二酸化炭素の量を数値化して、証書により認証する制度を実施しています。

証書は、環境貢献、社会貢献活動の証しとして広く広報活動に用いることができます。

森づくりをはじめたいけれど、活動できる森林を持っていない企業・団体の方は、お気軽にお問い合わせください。県では、活動フィールドの仲介や技術的指導等を実施しています。

詳しくは、 [石川県 企業の森づくり](#)

いしかわ版里山づくりISO 認証団体(H28.12.26現在)

H28ポスター発表団体

認証番号	組織名称	所在市町	認証番号	組織名称	所在市町
1	のと共栄信用金庫	七尾市	67	株式会社 フタキ鉄工	白山市
2	加賀白山麓観光ネットワーク協同組合	小松市	68	株式会社 浅野太鼓楽器店	白山市
3	能美の里山ファン倶楽部	能美市	69	株式会社 国土開発センター	金沢市
4	いしかわ里山保全活動リーダー会	金沢市	70	みづほ工業 株式会社	金沢市
5	公益社団法人 金沢こころの電話	金沢市	71	株式会社 田中建設	能美市
6	環八会	金沢市	72	株式会社 王家建設	金沢市
7	石川県立翠星高等学校	白山市	73	特定非営利活動法人 日本中国朱鷺保護協会	羽咋市
9	イオンリテール株式会社 近畿北陸カンパニー北陸事業部	白山市	74	山代温泉女性懇話会	加賀市
10	株式会社 北國銀行	金沢市	75	北陸信用金庫	金沢市
11	生活協同組合 コープいしかわ	白山市	76	株式会社 スギヨファーム	七尾市
12	特定非営利活動法人 39アース	金沢市	77	興能信用金庫	能登町
13	一般社団法人 語り部協会	能美市	78	石川県猟友会能美小松支部	小松市
14	石川フォレストサポーター会	金沢市	79	山崎農園	七尾市
15	木滑里山保全プロジェクト	白山市	82	新崎・志ヶ浦地区里山里山推進協議会	穴水町
16	能登建設株式会社	珠洲市	83	加賀東芝エレクトロニクス 株式会社	能美市
18	ウッドランドファーム	羽咋市	84	株式会社 橋本確文堂	金沢市
19	金沢ふるさと愛山会	野々市市	85	河北郡林業研究会	津幡町
20	コマツ薬工工場	小松市	86	「風土記の杜」づくりの会	加賀市
21	滝ヶ原町鞍掛山を愛する会	小松市	87	特定非営利活動法人いしかわ自然体験支援隊	金沢市
22	特定非営利活動法人 くくのち	金沢市	88	特定非営利活動法人世界の砂漠を緑で包む会	金沢市
23	株式会社 北陸環境サービス	金沢市	89	石川県退職者連合	金沢市
24	東レ 株式会社 石川工場	能美市	90	オダケホームグループ“安心の森づくり”クラブ	県外
27	加賀市立三谷小学校	加賀市	91	金沢星稜大学	金沢市
28	公益社団法人 石川の森づくり推進協会	金沢市	92	キリンビールマーケティング株式会社 石川支社	金沢市
29	白山麓ふなもり自然塾	白山市	95	ジェイ・バス 株式会社	小松市
30	特定非営利活動法人いしかわ農林水産サポートネット	金沢市	96	鴨池観察館友の会	加賀市
31	株式会社 日本海コンサルタント	金沢市	99	能登薪人の会	七尾市
32	山中温泉ひがしたに地区保存会	加賀市	100	アサヒビール 株式会社 北陸統括本部	金沢市
33	中部地下開発 株式会社	金沢市	101	石川県立加賀聖城高等学校	加賀市
34	株式会社 ホクコク地水	金沢市	103	津幡町立英田小学校	津幡町
35	金蔵集落	輪島市	104	株式会社 ジャパンディスプレイ	川北町
36	加賀林業研究グループ	加賀市	105	株式会社 神子の里	羽咋市
37	夕日寺自然体験実行委員会	金沢市	106	三谷地区活性化推進協議会	加賀市
39	小倉建設 株式会社	羽咋市	107	金沢赤とんぼ童謡唱歌愛唱会	金沢市
40	特定非営利活動法人 森林環境保全・里山物語	金沢市	108	能登島自然の里ながさき	七尾市
41	輪島市林業研究グループ	輪島市	109	からくり楽会	金沢市
42	石川県立七尾東雲高等学校	七尾市	110	石川県立津幡高等学校	津幡町
43	春蘭の里実行委員会	能登町	111	株式会社 御蔵川	七尾市
44	白山いぬわし自然楽校	野々市市	112	株式会社 環境日本海サービス公社	七尾市
46	一般財団法人 きんしん環境財団	金沢市	113	農事組合法人 能登ふれあいガーデン	能登町
47	特定非営利活動法人 能登半島おらっちゃんの里山里海	珠洲市	116	株式会社 環境公害研究センター	金沢市
48	株式会社 アイ・シー・ビー	野々市市	117	有限会社 北海道ワイン能登ヴィンヤード	穴水町
49	鶴来信用金庫	白山市	118	粟津村おこし推進協議会	珠洲市
50	小松市立那谷小学校	小松市	119	富士通株式会社 北陸支社	金沢市
51	白山市立白嶺小学校	白山市	122	石川県立能登高等学校	能登町
52	株式会社 上野組	輪島市	123	株式会社 奥能登塩田村	珠洲市
53	森林公園地域振興会・金沢森林組合エコグループ	津幡町	124	株式会社 OkuruSky	穴水町
54	社会福祉法人 愛里集福社会	金沢市	125	鉈打ふるさとづくり協議会	七尾市
55	能登にトキとコウトリを呼ぶ会	珠洲市	126	石川県立鶴来高等学校	白山市
56	TOTO 株式会社 北陸支社	金沢市	127	羽咋市立西北台小学校	羽咋市
57	金沢市立森本小学校	金沢市	130	奥能登棚田ネットワーク協議会	珠洲市
59	美川自然クラブ	白山市	132	日用苔の里整備推進協議会	小松市
60	特定非営利活動法人 e-cycle	金沢市	133	はるきの里保全の会	中能登町
61	輪島市立三井小学校	輪島市	134	株式会社 門前クリーンパーク	輪島市
63	金沢テクノパーク連絡会	金沢市	135	手取川七ヶ用水土地改良区	白山市
64	有限会社 花座	金沢市	137	カナン株式会社	小松市
65	特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所	津幡町	140	南建設株式会社	志賀町